

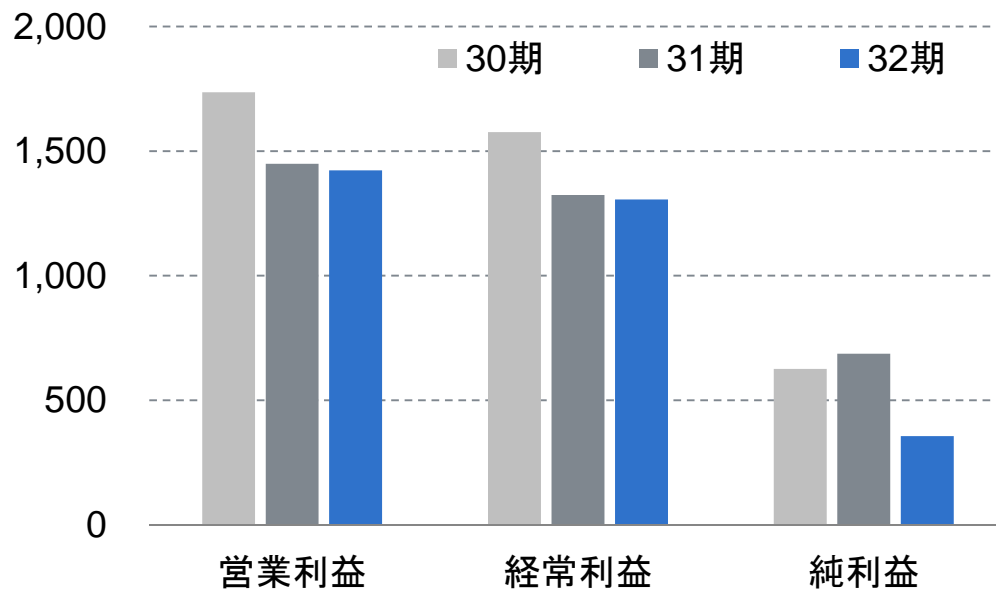
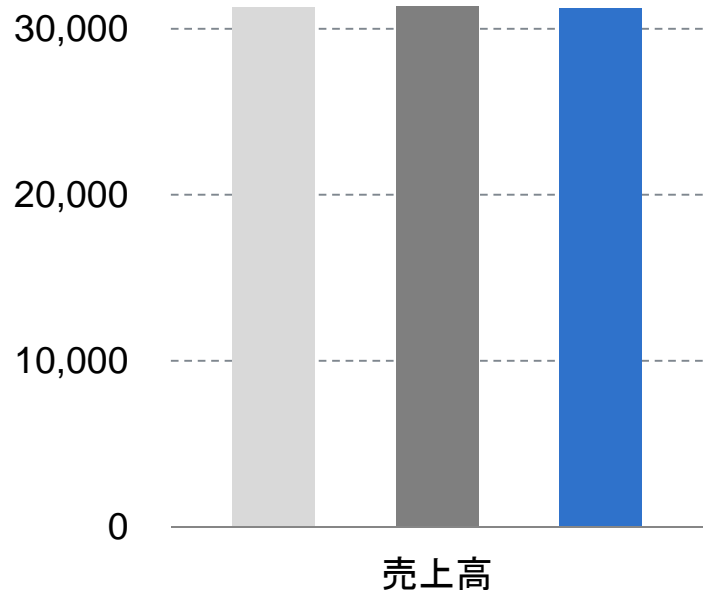
第32期（2013年3月期） 決算説明会

ローランド ディー.ジエー.株式会社
2013年5月15日

Imagine.  Roland®

32期(2013年3月期) 連結業績

単位:百万円



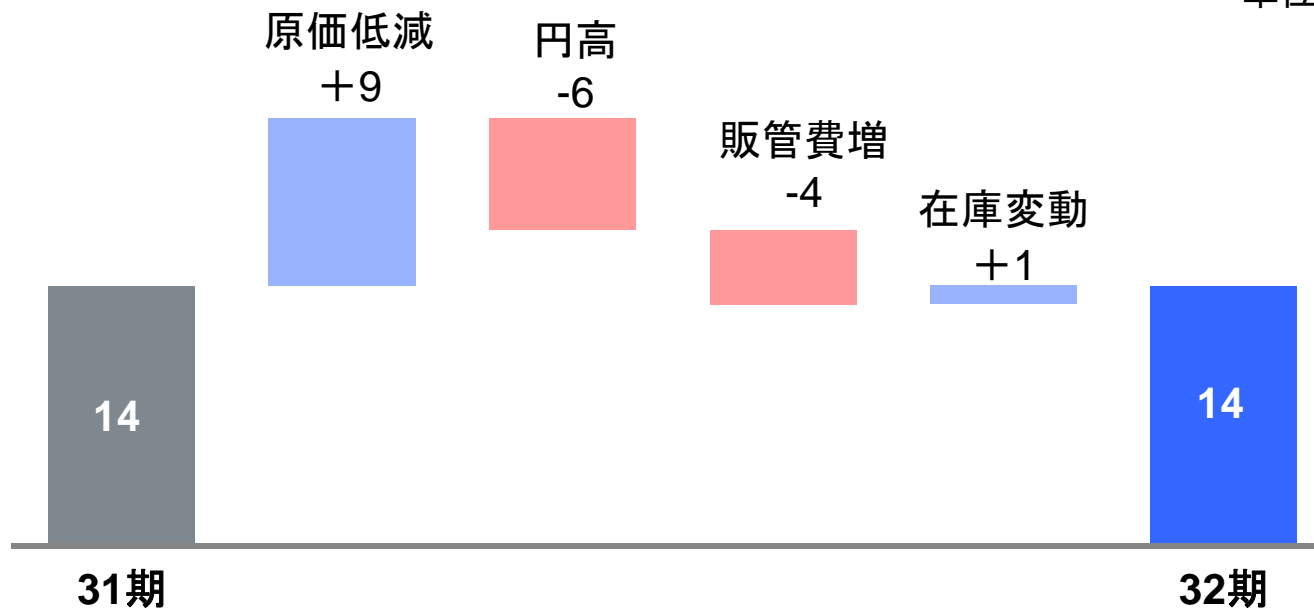
	30期	31期	32期	増減率
売上高	31,282	31,379	31,264	△0.4%
営業利益	1,736	1,449	1,423	△1.8%
経常利益	1,576	1,324	1,306	△1.4%
当期純利益	626	687	356	△48.2%

前期比ポイント

- 売上高、営業利益は前期並み
- 為替円高により約8億円減収
- 子会社ののれん減損で当期純利益は大幅減益

32期 連結営業利益 増減要因 (前期比)

単位:億円

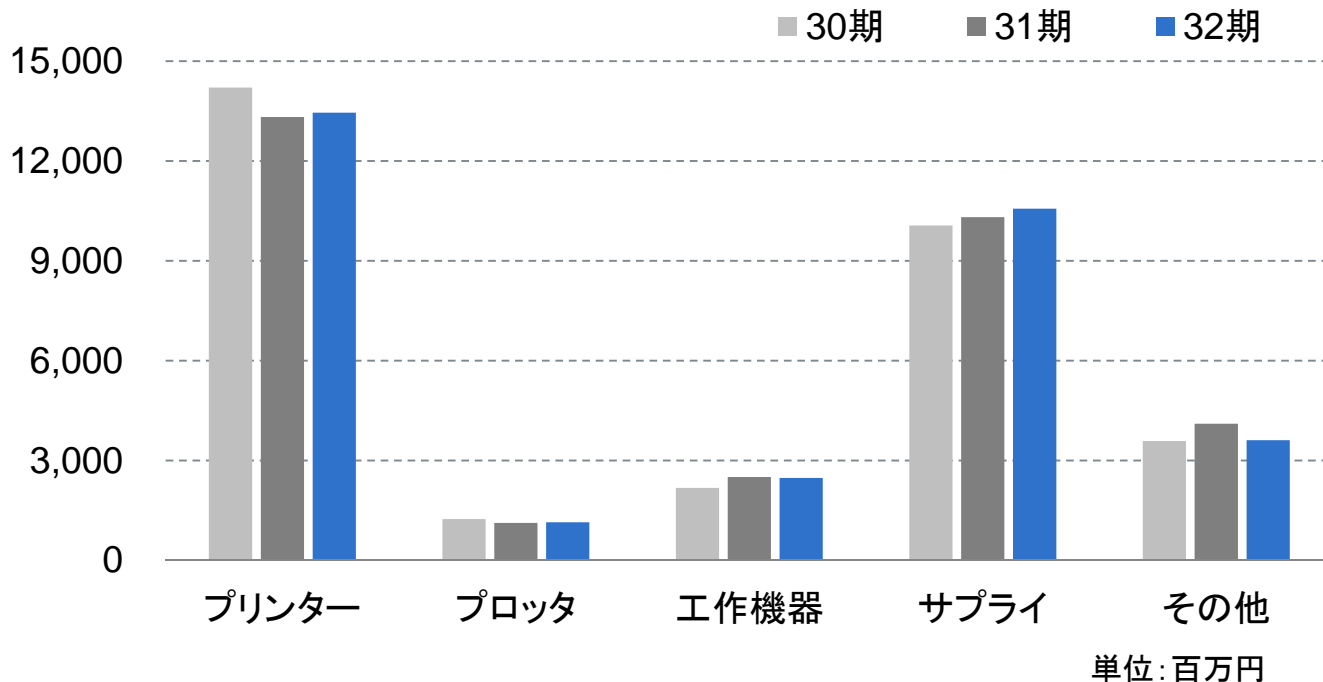


期中平均レート(1-12月、単位:円)

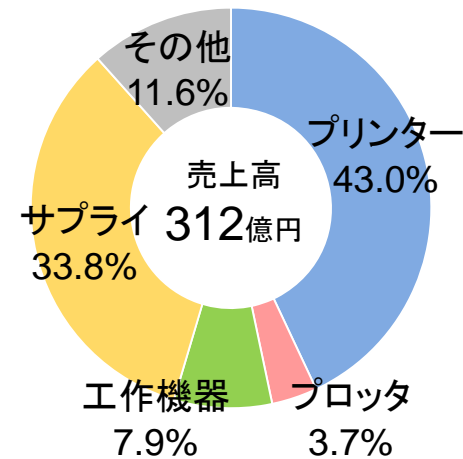
	31期	32期	円高率
USD	79.84	79.82	0.0%
EUR	111.14	102.65	7.6%
GBP	128.08	126.51	1.2%
DKK	14.91	13.79	7.5%
AUD	82.46	82.68	△0.3%
THB	-	2.57	-

32期 連結品目別売上高

単位:百万円



品目別売上高構成比



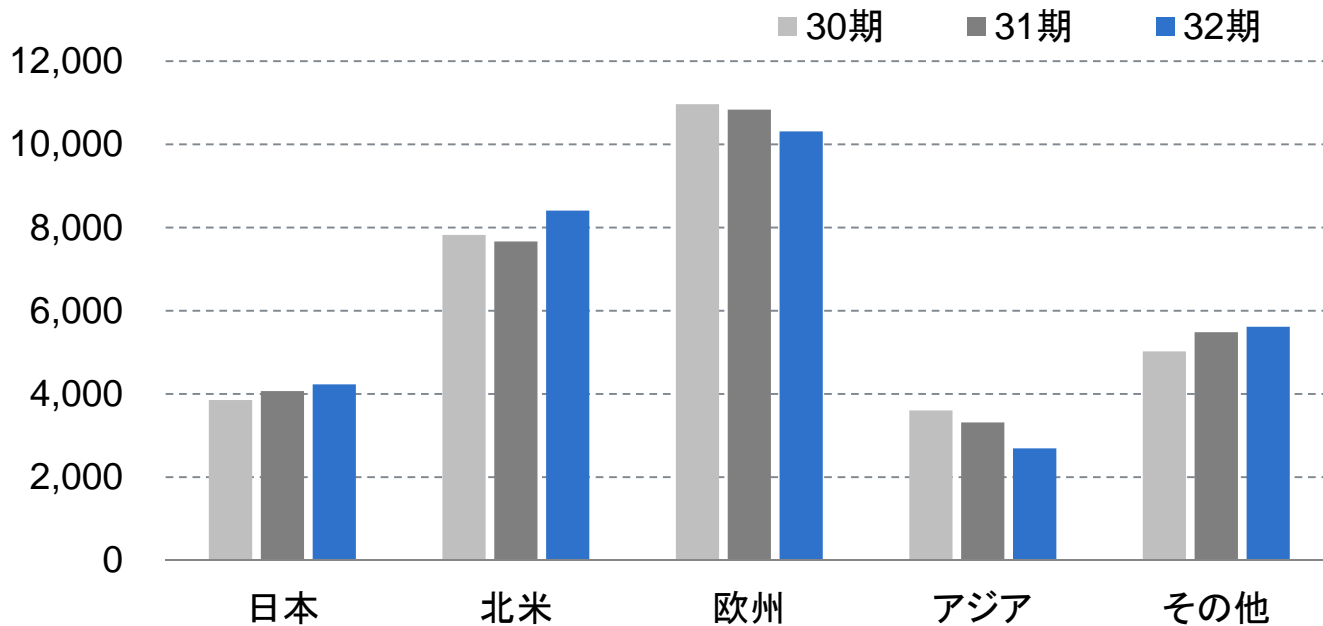
	31期		32期		増減率	
	金額	構成比	金額	構成比	邦貨	原通貨
プリンター	13,324	42.4%	13,453	43.0%	1.0%	3.5%
プロッタ	1,125	3.6%	1,148	3.7%	2.0%	3.6%
工作機器	2,507	8.0%	2,478	7.9%	△1.2%	1.2%
サプライ	10,313	32.9%	10,570	33.8%	2.5%	5.2%
その他	4,108	13.1%	3,613	11.6%	△12.0%	△10.5%
合計	31,379	100.0%	31,264	100.0%	△0.4%	2.0%

前期比ポイント

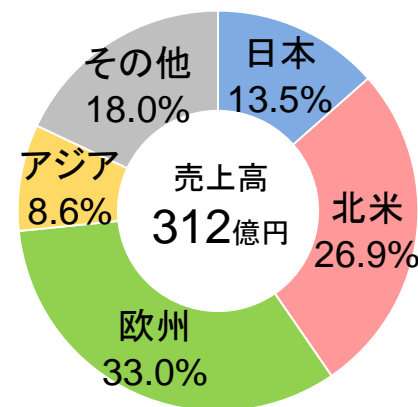
- プリンター: 前期の新製品効果が継続
- 工作機器: 前期のデンタル加工機立上げ反動で減収
- その他: 主に南欧・アジア向けが低調で減収

32期 連結地域別売上高

単位:百万円



地域別売上高構成比



単位:百万円

	31期		32期		増減率	
	金額	構成比	金額	構成比	邦貨	原通貨
日本	4,069	13.0%	4,232	13.5%	4.0%	-
北米	7,667	24.4%	8,408	26.9%	9.7%	9.7%
欧州	10,836	34.5%	10,311	33.0%	△4.8%	2.1%
アジア	3,318	10.6%	2,694	8.6%	△18.8%	-
その他	5,487	17.5%	5,617	18.0%	2.4%	-
合計	31,379	100.0%	31,264	100.0%	△0.4%	2.0%

前年同期比ポイント

- 欧州: 円高影響除くと実質増収
- アジア: 韓国販売体制の見直しと中国の競争激化が影響
- その他: ブラジルの選挙需要取り込み

32期新製品 プロ機種をはじめラインナップ充実

水性／低溶剤プリンター エントリーモデル



VersaArt
RE-640/RA-640

パーソナル市場向け カuttingマシン

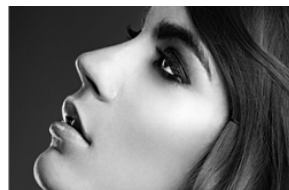


iDecora

プロ用プリンター フラッグシップモデル



SOLJET^{PRO4}
XR-640



XR-640



従来機種

グレー色の再現性や、高画質などが高評価で
プロユーザーの買い替え需要を促進

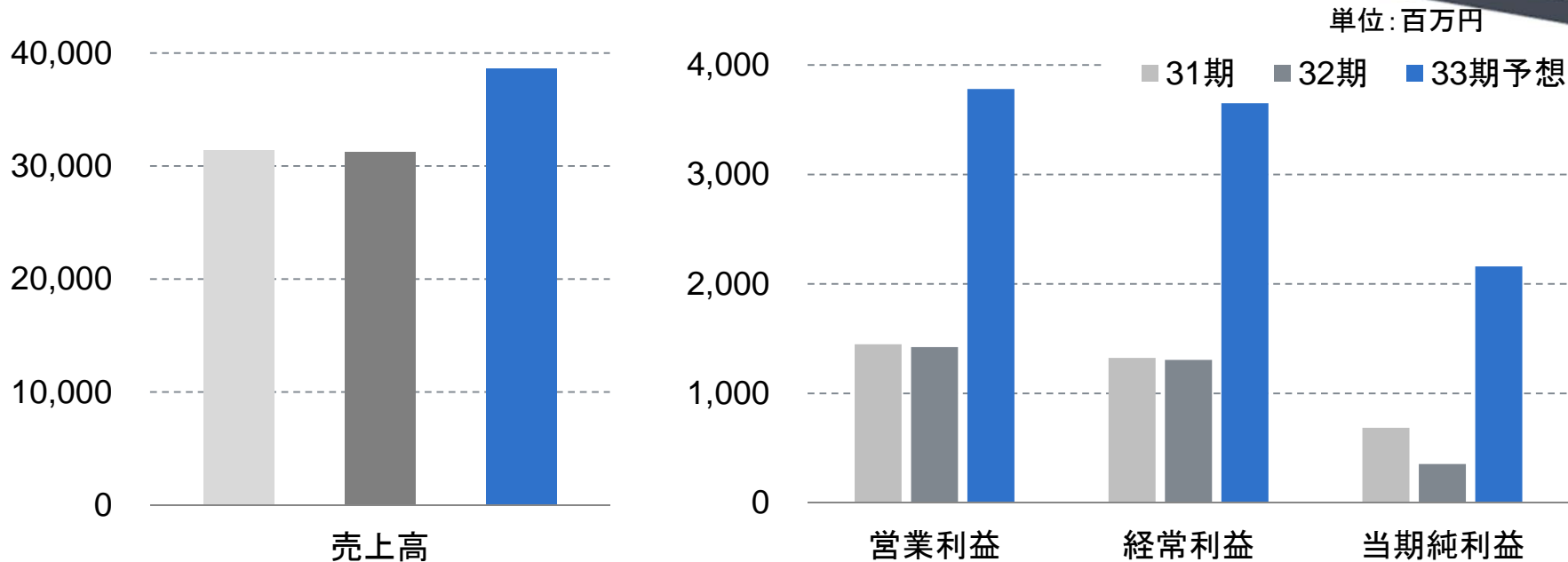
第33期(2014年3月期) 通期 連結業績 予想

33期(2014年3月期)の前提

33期の前提要件

- 為替円安へ移行 為替前提 米ドル: ¥90、ユーロ: ¥120
 - 円安による押上効果は売上高35億円、営業利益26億円(前期比)
 - 円安効果を除くと売上高は、実質12%成長
 - 円安効果を営業政策へ活用
- 新規連結子会社(ブラジル・中国・韓国 いずれも販売子会社)
 - ブラジルの連結化で10億円の増収要因
 - 中国・韓国子会社は営業初年度で費用先行
- 構造改革施策の継続
 - 中期経営計画に沿った施策の実行

33期通期 連結業績予想

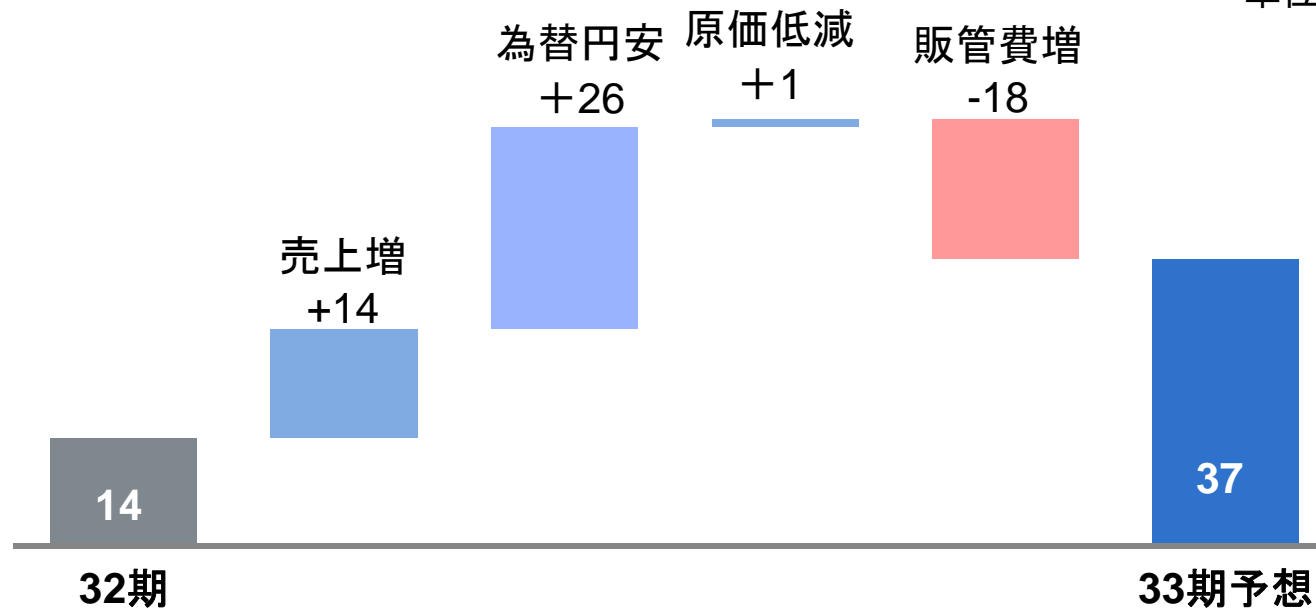


単位: 百万円

	31期	32期	33期予想	増減率
売上高	31,379	31,264	38,590	23.4%
営業利益	1,449	1,423	3,780	165.4%
経常利益	1,324	1,306	3,650	179.3%
当期純利益	687	356	2,160	505.9%

33期通期 連結営業利益 増減要因 (前期比)

単位: 億円



期中平均レート(1-12月、単位:円)

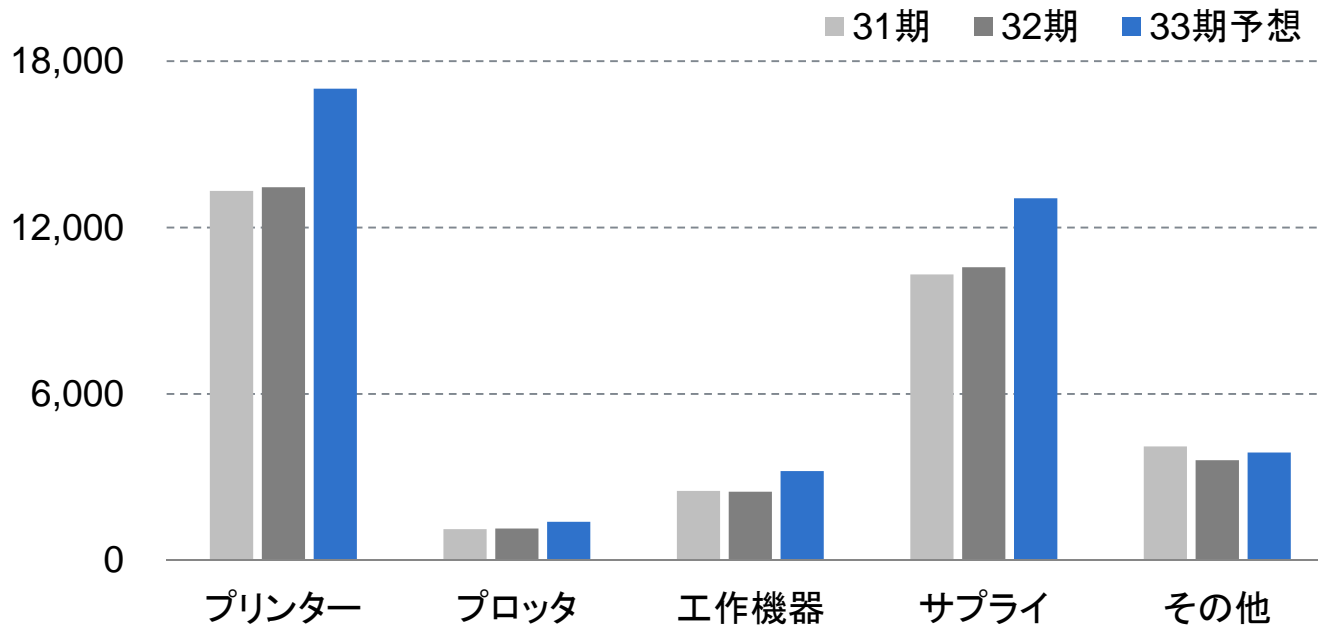
	32期	33期想定	円安率
USD	79.82	90.00	12.8%
EUR	102.65	120.00	16.9%
GBP	126.51	140.00	10.7%
DKK	13.79	16.10	16.8%
AUD	82.68	95.00	14.9%

期中平均レート(1-12月、単位:円)

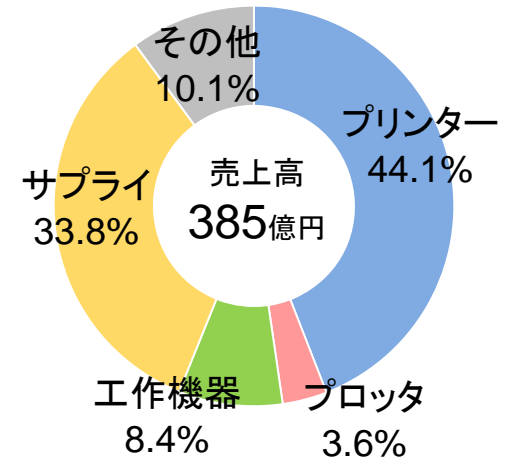
	32期	33期想定	円安率
THB	2.57	3.05	18.7%
CNY	-	14.50	-
KRW	-	0.08	-
BRL	-	45.00	-

33期通期 連結品目別売上高予想

単位:百万円



品目別売上高構成比(予想)



単位:百万円

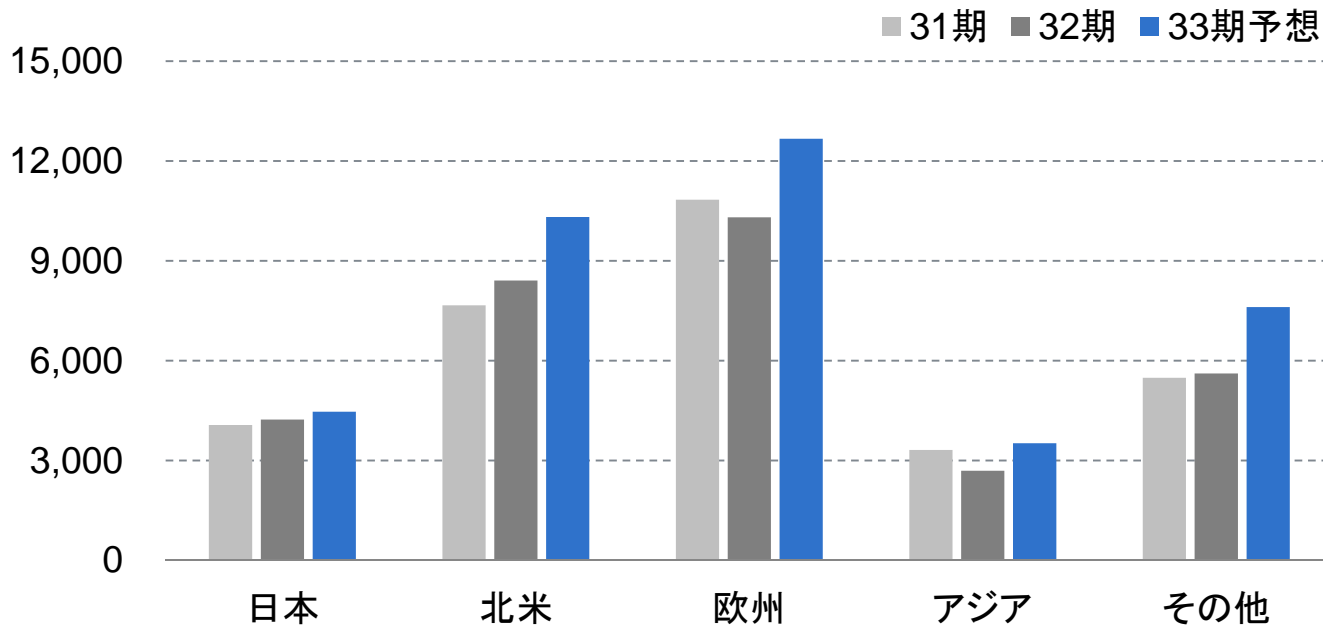
	32期		33期予想		増減率	
	金額	構成比	金額	構成比	邦貨	原通貨
プリンター	13,453	43.0%	17,010	44.1%	26.4%	14.9%
プロッタ	1,148	3.7%	1,390	3.6%	21.0%	9.9%
工作機器	2,478	7.9%	3,220	8.4%	29.9%	19.2%
サプライ	10,570	33.8%	13,060	33.8%	23.6%	11.7%
その他	3,613	11.6%	3,890	10.1%	7.6%	△1.0%
合計	31,264	100.0%	38,590	100.0%	23.4%	12.2%

前期比コメント

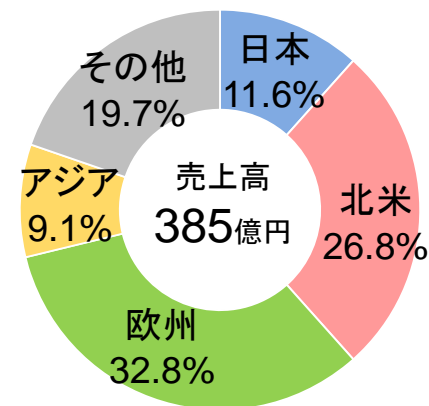
- プリンター:プロ向けの
新製品が貢献
- 工作機器:主にデンタル
加工機が伸長
- サプライ:プリンターと
同様に伸長

33期通期 連結地域別売上高予想

単位:百万円



地域別売上高構成比(予想)



単位:百万円

	32期		33期予想		増減率	
	金額	構成比	金額	構成比	邦貨	原通貨
日本	4,232	13.5%	4,470	11.6%	5.6%	-
北米	8,408	26.9%	10,320	26.8%	22.7%	9.3%
欧州	10,311	33.0%	12,670	32.8%	22.9%	5.4%
アジア	2,694	8.6%	3,520	9.1%	30.7%	-
その他	5,617	18.0%	7,610	19.7%	35.5%	-
合計	31,264	100.0%	38,590	100.0%	23.4%	12.2%

前期比コメント

- 北米:好調を持続
- 欧州:底堅い販売継続
- アジア:中国・韓国は高付加価値市場の開拓へ特化
- その他:ブラジル連結効果と中南米が増加

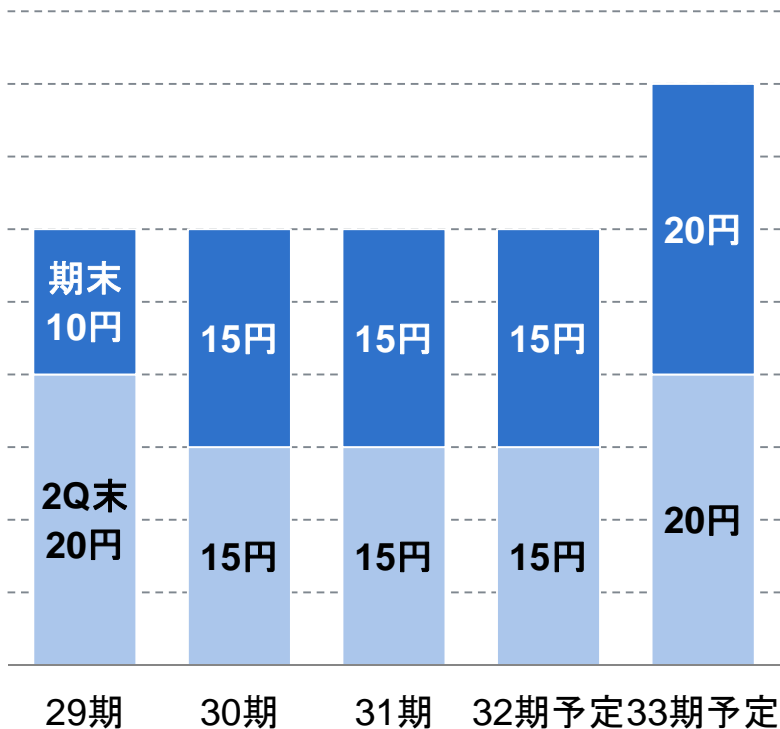
株主還元

- 32期(2013年3月期)
1株配当金 30円を予定
- 33期(2014年3月期)
同 40円を予定

配当方針

2014年3月期より、安定配当に加え 連結利益の配当性向20% を目標

1株配当金



配当性向(青:単体、赤:連結)

